

RETAILER ACADEMY NEWS

Feb 2023 | Bentley Motors Japan

R-Type コンチネンタル誕生70周年 マリナー、オマージュのGT Azure 製造



ベントレー モーターズは、このほど、往年の名車 R-Type コンチネンタルの誕生 70 周年を記念して、ビスポーク部門のマリナーが名車のオマージュのコンチネンタル GT Azure を製造しました。70 周年を迎え、オマージュされた車両は、ベントレー モーターズがヘリテージコレクションとして所有する R-Type コンチネンタル「JAS 949」です。この車両は、これまで製造された 208 台の R-Type コンチネンタルのうちの 1 台であり、1953 年 12 月、最初のオーナーであるスイスのローランド・グエイニン博士に納車されました。2001 年にベントレーの所有となり、マニュアルトランスミッションやオリジナルの 4.6 リッターエンジンなど機械面でも良好な状態にメンテナンスされてきました。ボディカラーはアイボリー、内装はレッドで、各種イベントなどで定期的に公道走行が行われています。

R-Type コンチネンタルは、1952 年の発売当時、4 人乗りラグジュアリー サルーンとして世界最速を誇りました。そして、生産台数の少なさは想像できないほど大きな影響を現代のベントレーにもたらしました。このモデルのデザインには、前輪から立ち上がりドアを通つ



てリアへと続いていく「パワーライン」、後輪周囲に筋肉質な印象を与える「ハウンチ」、リアエンドに向かってなだらかに傾斜していく「ルーフライン」という 3 つの主要なデザインラインが採用されています。2003 年に初代コンチネンタル GT でこの 3 つのラインが復活し、それ以降のコンチネンタル GT はもちろん、他のベントレーにもすべてこの要素が含まれるようになりました。

R-Type コンチネンタルの直系子孫ともいえるコンチネンタル GT Azure は、JAS 949 に最も近い仕様を現代に再現するため、ボディカラーには 1950 年代のカラーを忠実に再現したオールドイングリッシュホワイトを選択。ホイールはオリジナルと同じブラック&ポリッシュ仕上げの 22 インチホイールを装着しています。キャabin はレザーカラーにクリケットボールを選択し、JAS 949 と同じ色合いを再現。ウッドパネルはオープンポア パーウォルナットを選び、JAS 949 のパテント仕上げに近い質感を再現しました。コンチネンタル GT はエレガンスと時代を超越したデザインを継承するモデルですが、マリナーの手によって 70 年前の名車の雰囲気が、現代のモデルに見事に再現されています。



COMPETITOR INFORMATION



BMW Xモデル初のM専用モデル BMW XM

ビー・エム・ダブリュー株式会社は、2023年1月18日にBMWのSUVモデルとしては初となるM専用モデルのXMを発表。同日より販売を開始しました。納車は4月からの予定です。

SUMMARY

- 1978年に発表された初代Mモデルのミッドシップスポーツカー、BMW M1以来となるBMW M専用モデル
- BMW Xモデル初のM専用モデルで、BMW Mモデルとしては初となるプラグインハイブリッドモデル
- SUVでありながらサーキット走行を可能とする、BMW M史上最強の圧倒的なパフォーマンスを発揮
- BMWのラインアップの中で最上級かつ最強のモデルのひとつとして設定
- 装備面においてもすべての要素を盛り込んだフルスペックとし、ワンプライスの価格設定を実現



EXTERIOR

- BMWのラグジュアリーモデルにふさわしい圧倒的な存在感と、Mモデルらしいスポーティさを融合した個性的なデザイン
- ヘッドライトは、上側にウィンカー / LED デイタイムランニングライト、下側にLEDヘッドライトを配置した上下2分割式の「ツインサーキュラー&ダブルライト」を採用
- BMWを象徴するキドニーグリルは存在感と力強さを主張する八角形のデザイン。夜間の存在感を主張するイルミネーション付きの「アイコニック・グロー・キドニー・グリル」を採用
- ロングホイールベースと23インチホイールによる力強いサイドデザイン。リアは縦に配置された六角形デザインのエキゾーストテールパイプにより近未来的な個性を演出
- グリル周囲、ウィンドウフレーム、ホイールには、華やかな印象の「ナイト・ゴールド」と、精悍な印象の「ハイグロス・ブラック」のアクセントカラーを採用。2種類の個性を選択できる



TECHNOLOGY

- 最高出力489PS、最大トルク650Nmを発生する4.4L V8ガソリンターボエンジンに、最新のプラグインハイブリッドシステムを組み合わせたパワーユニット
- プラグインハイブリッドシステムは、第5世代の「BMW eDriveテクノロジー」を採用。電気モーターの出力は197PS (145kW)。電池容量は29.5kW。約90kmまでのゼロエミッション走行が可能
- システム全体では最高出力653PS (480kW)、最大トルク800Nmを発揮。電気自動車を除くモデルとして、BMW史上最強のパワーを実現
- 電子制御ダンパーとアクティブロールスタビライザーを備えた「アダプティブMサスペンション・プロフェッショナル」では、快適な走行からサーキット走行までをカバーする3種類のドライビングモードを設定
- Mモデル初となるインテグラル・アクティブ・ステアリングを採用。Mモデル専用4輪駆動システムの「M xDrive」、 「Mスポーツディファレンシャル」などの採用により、あらゆる状況下で最大限の操作性と安定性を発揮



INTERIOR

- ワイド画面のメーターパネルとコントロールディスプレイを一体化させ、運転席側に湾曲させた最新の「カーブド・ディスプレイ」を採用
- インストルメントパネルやドアトリムには専用のビンテージ調レザーを採用。経年使用した風合いを意図的に施すことで独自の世界観を演出
- 後席はレザーとアルカンターラの大型クッションを組み合わせたシートを採用。独自の「Mラウンジ・コンセプト」により、ラウンジソファのようにゆったりとくつろげる空間を実現
- ルーフには立体的なプリズムデザインと間接照明・直接照明を組み合わせた「プリズム・ルーフ・ライニング」を採用。個性的かつ幻想的な空間を演出
- 「4ゾーン・エアコンディショニング」、「BMW Individualフル・レザー・メリノ・シート」、「Bowers & Wilkinsダイヤモンド・サラウンド・サウンド・システム」など、非常に充実した標準装備



PRICE

BMW XM

21,300,000円(税込)

COMPETITOR INFORMATION

特別仕様車 予約受注開始：2023年1月11日 / デリバリー：2023年2月以降

メルセデス AMG GT 63 S E PERFORMANCE F1 Edition



- ・F1テクノロジーの採用に加え、内外装をF1 Edition専用としたメルセデスAMG 55周年記念モデル。日本市場には35台を限定販売
- ・パワーユニットは4.0L V8 ツインターボエンジン+プラグインハイブリッドで、システム合計出力843PS、最大システムトルク1,400Nm以上を発揮。0-100km/h加速は2.9秒、最高速度は315km/h
- ・最高出力150kW(204PS)を発生させる交流同期モーターはリアアクスルに搭載。AMG自社開発の軽量な高性能バッテリーはリアアクスル上方に搭載

車両価格 (税込)	メルセデス AMG GT 63 S E PERFORMANCE F1 Edition：	32,700,000円
--------------	--	-------------

一部改良 発売：2023年1月9日 / デリバリー：未定

レクサス RC F



- ・ホイールの締結にワッシャ付ハブボルトを採用することで、締結力の強化とパネ下質量の低減に寄与。より優れたハンドリング性能を実現
- ・電子制御サスペンションとパワーステアリング制御、ショックアブソーバー特性を最適化することで、操縦安定性と乗り心地を両立
- ・ボディ剛性の前後バランスの見直し、Dレンジのパドルシフト変速制御の改良、Lexus Safety System +の機能拡充などにより、より気持ちの良い走りとドライバーの負担軽減を実現

車両価格 (税込)	レクサス RC F：	10,580,000円～14,550,000円
--------------	------------	-------------------------

特別仕様車 予約受注開始：2023年1月26日 / デリバリー：2023年5月以降

Limited Edition Maybach by Virgil Abloh



- ・「Project MAYBACH」をモチーフにした世界限定150台・日本限定13台の特別仕様車
- ・エクステリアは、砂漠をイメージしたコロラドベージュとオプシディアンブラックを組み合わせた専用のツートーンペイントを採用。足回りにはコロラドベージュペイントを施した20インチディッシュホイールを装着
- ・インテリアは、サンド/ブラックの内装色、コロラドベージュ仕上げのインテリアトリム、ブラックの ナッパレザールーフライナー、Virgil Ablohロゴ、専用MBUXメニュー画面などを採用

車両価格 (税込)	Limited Edition Maybach by Virgil Abloh：	56,000,000円
--------------	--	-------------

ニューモデル 発売：2023年1月20日 / デリバリー：2023年1月下旬以降

BMW M3 コンペティションM xDrive ツーリング



- ・BMWのMハイ・パフォーマンス・モデルのセダンモデル「BMW M3」に追加されたツーリング・モデル。ワゴンボディによる実用性の高さとサーキット走行が楽しめるハイパフォーマンスを両立
- ・3.0L 直列6気筒ガソリンターボエンジンは、最高出力510PS、最大トルク650Nmを発揮。0-100km/h加速は3.6秒
- ・圧倒的な高出力を路面に確実に伝えるM専用4輪駆動システムの「M xDrive」を搭載

車両価格 (税込)	BMW M3 コンペティションM xDrive ツーリング：	13,980,000円
--------------	--------------------------------	-------------

特別仕様車 発表：2022年12月22日 / デリバリー：同日より開始

メルセデス AMG E 63 S 4MATIC+ Final Edition



- ・現行型EクラスのメルセデスAMG E 63 S 4MATIC+の最後を飾る世界限定999台の特別限定車。日本市場には50台を限定販売
- ・エクステリアは、各部のグロスブラック化、20インチホイール、CピラーのAMGエンブレム、AMGロゴプロジェクター、専用デカールを採用
- ・インテリアは、AMGカーボンインテリアトリム、専用バッジ、イエローステッチのAMGパフォーマンスステアリング、ブラックAMGイルミネーテッドステップカバーを採用

車両価格 (税込)	メルセデス AMG E 63 S 4MATIC+ Final Edition：	24,470,000円
--------------	--	-------------

特別仕様車 発表：2022年12月20日 / デリバリー：未定

マセラティ ギブリ GT Pelle Intrecciata / レヴァンテ GT Pelle Intrecciata



- ・車名の“ペッレ イントレッチャータ”とは「編まれた革」を意味するイタリア語で、上質なイタリア製ナッパレザーを使用
- ・シート座面前方と背もたれ部分に使用される“ペッレ イントレッチャータ”は、手作業で選別された幅2～2.2mmのナッパレザーを極細の紐状にカットし、伝統的な手法に倣い特殊な織機で織り上げられたもの
- ・ギブリ GT、レヴァンテ GTともにブラック/ダークブラウン、ホワイト/タン、グレー/ブラックの内外装を設定

車両価格 (税込)	ギブリ GT：	14,260,000円～14,400,000円
	レヴァンテ GT：	15,490,000円～15,650,000円

BEYOND 100

ベントレーが12年連続で トップエンプロイヤーに

ベントレー モーターズはこのほど、トップエンプロイヤー インスティテュートから、12年連続で英国のトップエンプロイヤーとしての認定を受けました。トップエンプロイヤー インスティテュートは、オランダのアムステルダムに本拠地を置き、企業の従業員に対する人事制度や雇用環境を評価する第三者機関で、毎年国際的な調査を実施。優れた労働環境を提供し、採用プロセスを継続的に強化し、事業のあらゆるレベルにおいて人材を育成、開発するためにさまざまな努力をする世界中の大手企業を表彰していますが、ベントレーは英国の自動車メーカーとして唯一、このリストに名を連ねています。

多くの組織にとって厳しい年となったこの1年でしたが、ベントレーはサステナビリティやデジタル化、多様性とインクルーシブに重点を置くとともに、従業員の福利厚生や価値観、倫理観、誠実さといったものを高める取り組みを行ってきました。こういった点が高く評価され、12年連続での栄誉に輝きました。この賞は、各従業員の「特



別な旅」に対するベントレーの革新的で説得力のあるアプローチと、未来に向けたベントレーの進歩的で戦略的な目標に注目した、事業の包括的なレビューに基づいたものといえます。

ベントレー モーターズのカレン・ランゲ取締役（人事担当）は、「ベントレーは100年以上にわたり、従業員をビジネスの中心に据えてきたため、12年連続でトップエンプロイヤー アワードを受賞できたことを非常に光栄に思います。次の100年でもベントレーはサステナブルなラグジュアリー モビリティのリーダーになるという野心的な目標を掲げており、その旅においてベントレーを支えてくれる最高の人材を開発し、維持し、惹きつけ続けることが不可欠です」などと語っています。



マリナーがバサースト12時間の勝利を記念した コンチネンタルGT Sを製造

ベントレー モーターズのビスポーク部門であるマリナーとベントレー シドニーはこのほど、2020年のバサースト12時間レースでコンチネンタルGT3が優勝したことを記念し、2台限定で特別なコンチネンタルGT Sを製造しました。優勝した7号車からインスピレーションを得てデザインされ、記念のフレーム入りオブジェと優勝したレースカーの1:18スケールモデルカーをセットにして、オーストラリアで販売されました。

発売された2台のうち1台は、優勝したレースカーのカラーリングを模してボディカラーにアップルグリーンを採用。ベルーガのディテールがルーフ、ミラーカバー、ローワーバンパー、トランクエンドに施され、コントラストを高めています。フロントグリルには、レースカーと同様にナンバリングが施されています。さらにコンテンポラリーでパフォーマンス重視のテーマを強調するため、クロームのディテールがすべてグロスブラックに置き換えられるブラックライン スペシフィケーションや、カーボンファイバー製のフロントスプリッターとサイドスカート、リアディフューザーが装着されるスタイリング スペシフィケーションを採用し、よりアグレッシブなビジュアルとなっています。

インテリアは、レースカーよりもはるかにラグジュアリーな仕様でありながら、パフォーマンスの高さも感じられるよう演出されています。シートやトリムにはベルーガのレザーとDinamicaを使用し、パネルにはカーボンファイバーを選択。アップルグリーンのパイピング&コントラストステッチのアクセントを含めたインテリアは、エクステリアのテーマと見事に調和しています。ヘッドレストには「BATHURST」の刺繍が入り、トレッドプレートには「ONE OF TWO」の文字が刻印されています。助手席側のフェイスパネルには、マウントパノラマサーキットのシルエットをユニークなメタルオーバーレイで表現。センターコンソールには優勝した車両のナンバリングと3人のドライバー名などが入っています。

もう1台は、第2世代のコンチネンタルGT3が発表された際の仕様を反映。ボディカラーはシルバーテンペストですが、ブラックライン スペシフィケーションとスタイリング スペシフィケーションを採用している点や、インテリアの仕様はもう1台と同様となっています。

悪天候やトラブルを乗り越えてつかんだ栄冠

2020年のバサースト12時間レースは、マクシム・スーレ、ジョーダン・ペッパー、ジュール・グーノンら3人のドライバーの全力でのアタックと、チームのレース戦略とピットストップ戦術が噛み合い、7時間経過時点でトップに立ちました。日中の気温が40℃を超え、レース後半には雨も降る過酷なコンディションに加え、残り1時間で予期せぬパンクに対処するなど厳しい展開でした。チーム一丸となって困難を乗り越えた結果、314周という記録を樹立し、見事に優勝を果たしました。詳細はリテラー アカデミーニュース2020年2月号でご確認いただけます。ぜひアーカイブをご活用ください。



AWARDS

コンチネンタル GT Sが Robb ReportのCOTYを受賞



ベントレー モーターズはこのほど、『Robb Report』誌が主催するラグジュアリーカーのコンテストにおいて、コンチネンタル GT Sシリーズがカー・オブ・ザ・イヤーを受賞したと発表しました。この賞は、175人を超える読者と審査員、優秀な編集スタッフが、車両の外観、性能、ラグジュアリーさと快適性、実用性、そして「ワオファクター」やコレクション性といった無形の要素を含む5つのカテゴリで各車を評価。2022年後半にカリフォルニア州とフロリダ州で行われたクーペとコンバーチブルによる2部構成の審査の結果、コンチネンタル GT Sが10車種以上の候補の中でトップに立ち、カー・オブ・ザ・イヤーを獲得しました。Robb Reportのカー・オブ・ザ・イヤーは20周年を迎えますが、ベントレーがこの賞を受賞するのは4回目。2004年にコンチネンタル GT、2007年にコンチネンタル GT コンバーチブル、2022年にコンチネンタル GT Speedが受賞し、今年のコンチネンタル GT Sで2年連続受賞となりました。

Robb Reportのポール・クラフトン編集長は、「ベントレーが2年連続でカー・オブ・ザ・イヤーを受賞したことは、ベントレーの卓越した物作りへのこだわりと、私たちの読者の皆さんが持つ世界で最も優れた車に対する知識と経験を反映したものです」などとコメントしています。

CHARITY

ビスポークのベンティガ EWBを チャリティオークションに出品



米国フロリダ州でこのほど開催されたネーブルズ ウインター ワイン フェスティバルに、ベントレー ネーブルズの依頼でマリナーが製造したビスポークのベンティガ EWB Azureが、チャリティオークションに出品されました。マリナーによるベンティガ EWBのビスポークは初めて。この車両も見事に落札され、チャリティオークションの総売上は100万ドルに達し、フロリダ州の恵まれない子どもたちの支援に使われます。

ビスポークのベンティガ EWB Azureは、ボディカラーがスノークウォーツでブラックライン スペシフィケーションを合わせたコントラスト際立つエクステリアが特徴です。マリナー ホワイト×ペルーガのキャビンには、シフトレバー、ドアポケット、パイピング、ステッチなどにワインをイメージしたアメシストのアクセントが施されています。

ベントレー アメリカのクリストフ・ジョージ会長兼CEOは、「ベントレー ネーブルズとマリナーのチームが、価値のある素晴らしい活動を支援するため、このユニークなベンティガ EWBを製造したことを誇りに思います。地域社会に貢献することは、ベントレーのサステナビリティへの取り組みの一環なのです」などとコメントしています。

PEOPLE

新デザイン ディレクターに トビアス・シュールマンが就任



ベントレー モーターズは2月1日付で、デザイン部門の新ディレクターにトビアス・シュールマンが就任したことを発表しました。

シュールマンは2021年10月、ベントレーに入社してエクステリアデザインの責任者として手腕を発揮。自動車デザインの分野で20年以上のキャリアを持つシュールマンはこれまで、マクラーレン、アストンマーティン、ブガッティで経験を積み、2005年にフォルクスワーゲンに入社。ポツダム デザインセンターでデザイン部門の上級職を務めました。2007年にヴォルフスブルクのフォルクスワーゲン デザインに異動し、パサート、アルテオン、トゥアレグのほか、さまざまなショーカーのデザインに携わってきました。ベントレーではパトゥールのデザインに携わり、ベントレーのBEVの指標となる新たなデザインDNAを築く役割を担ってきました。

シュールマンは今後、約50人のデザイン エキスパートチームを率い、今後のベントレーのラインアップ、コンセプトカー、ショーカーの内外装、カラー、トリムのデザインを決定する責任を負うことになります。シュールマンは「現在ベントレーはデザイン言語の再構築を進めており、すべての同僚と密接に協力しながらこれを主導する責任を負うことはとても名誉なことだと感じています。また、私たちがともにベントレーを新しい方向に導き、現代のベントレーをインスピレーションあふれる調和に満ちた最高の車にしていけるのを楽しみにしています」などと抱負を語っています。

TECHNOLOGY

ベンティガ EWBをARアプリで再現 選んだ場所でのドライブ体験も提供



ベントレー モーターズはこのほど、ベンティガ EWBの世界観を擬似的に体験できるAR（拡張現実）アプリ「ベンティガ EWB ARビジュアライザー」を発表しました。ボディカラーやレザーカラー、カラスブリットなどを自由に変更し、自分だけのベンティガ EWBを作ることができます。また、好きな場所でアプリを起動すれば、外観を確認できるだけでなく、車両を走らせている様子を第三者視点で見ることができるバーチャルドライブ機能も備えています。

スタイルに迷った場合には、ラグジュアリーとパフォーマンスという両極にある要素をベントレーらしく調和させた2種類の仕様をご用意。一方はボディカラーがローズゴールド、インテリアがポーボイズ&リネンのラグジュアリーさを全面に出した仕様です。もう一方は、ボディカラーがグレーバイオレット、インテリアがダムソン&リネンというパフォーマンスを感じさせる仕様です。ベントレーのコンフィギュレーターにもリンクしており、アプリ内で設定できないさらに詳細な仕様を確認することもできます。ベンティガ EWBビジュアライザーは、Google Play ストアとApple App Storeで配信しており、日本語にも対応しています。お客様にも積極的にご紹介ください。

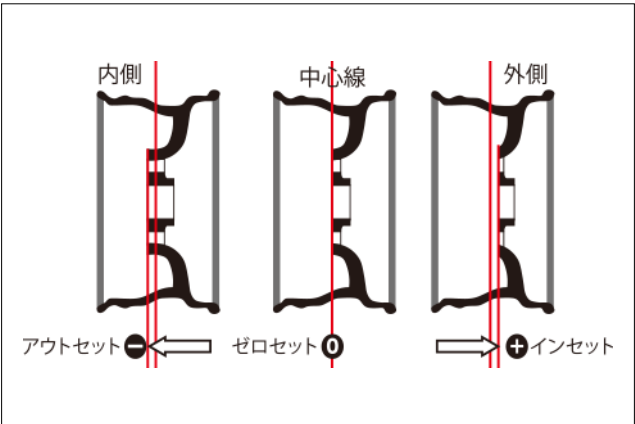
ホイールの基礎知識

クルマの走りを支えるだけでなく、ドレスアップにも重要なアイテムとなるのがホイールです。
今回は、ホイールサイズの読み方、素材や製造方ごとの違い、ホイールの保安規格などを紹介します。



ホイールサイズの読み方

ホイールのサイズは「21×9.5 J 5 112 41」などのように表示されます。数字は順に「リム径」「リム幅」「フランジ形状」「ボルト穴数」「PCD」「インセット」を意味しています。「リム径」とは、ホイールの直径をインチで表したものです。「リム幅」はタイヤがハマる幅のインチ表示です。「フランジ形状」はホイールがタイヤに接するフチの部分の形を意味し、JやJJ、D、E、Bなどが存在します。「ボルト穴数」は、ホイールを固定するボルト穴の数。4穴から5穴、6穴までがあります。「PCD」は、ピッチ／サークル／ダイアメーターの略で、ボルト穴ピッチ円直径 (mm) のこと。「インセット」は、ホイールの中心からディスク内面までの距離 (mm) のこと。かつては「オフセット」の言葉が使われていました。かつての「プラスオフセット」が「インセット」、「マイナスオフセット」が「アウトオフセット」になります。



21 × 9.5 J 5 112 41

リム径 リム幅 フランジ形状 ボルト穴数 PCD インセット

素材や製造による性格の違い

ホイールは素材や製造方法によってメリットとデメリットが生じます。素材として現在主に使われているのが、鉄、アルミとなります。そして最新素材としてカーボンファイバーが登場しています。また、アルミホイールには製造方法として鋳造と鍛造があります。鋳造は溶かしたアルミを鋳型に流し込んで作ります。鍛造は、圧力をかけて叩いて製造します。それぞれのメリットとデメリットは以下のようなものとなります。

	○	×
鉄 (スチール) ホイール	安価で丈夫	重い
アルミ鋳造ホイール	鉄よりも軽量	鉄よりも弱い
アルミ鍛造ホイール	鋳造よりも強い	高価になる
カーボンホイール	最も軽量	高価になる



アルミの鍛造ホイールは「FORGED (フォージド)」と呼ばれることもあります。

アルミホイールの安全規格

ホイールはクルマの走行に関する重要な部品です。そのため国土交通省が保安基準を定めており、その規定をクリアした製品には「JWL」のマークが刻印されています。また、第三者機関による審査をクリアしている製品には「VIA」のマークが刻印されます。アメリカの保安基準をクリアした製品には「DOT」が刻印されています。



日本の保安基準をクリアした製品には写真のような「JWL」のマークが刻印されています。